

- 納涼祭、中止になりました
- 一斉清掃、共通部分の清掃に
- 会費のコンビニ集金集金が好調に進む
- 拠点防災運営委員のDIG研修

納涼祭、中止になりました

新型コロナ感染の流行による納涼祭の中止も3年間に及び、今年こそは何としても納涼祭を復活するという熱気に溢れていました。

新役員の選出が終るなり納涼祭の準備に着手しました。出演者のお願いを始め、経費削減のために櫓の設置を止めて舞台だけにするとか、以前から自治会で持っていた重い旧式のテントに代えて最新式のワンタッチ方式テントに切り替え、ボランティアの募集で自前での設営にも取り組んできました。また高齢者の多い日限山地区では新型コロナ感染症の再発への不安も高く、13項目に及ぶ各種の安全衛生対策にも取り組んできました。

ただ新型コロナ感染症による3年間の納涼祭開催のブランクの影響は意外に大きく、今まで頑張ってきた高齢役員の引退の増加によるノウハウの伝承が課題となりました。一方では働く人たちの仕事環境や生活環境も大きく変わり、多忙な中でも納涼祭準備に苦勞して取り組んできました。さらに色々な人の考え方の違いにより、喧々諤々の議論を行いました。今年本格導入したLINE上での議論の進め方に不慣れであったために、その違いを克服することができず、最終的に6月11日の役員会で令和5年度の納涼祭は中止することになりました。

改めて、今回の納涼祭の復活のためにご尽力いただいた多くの協力団体、出演団体、模擬店出店団体の関係者の皆様のご努力に厚く御礼申し上げますとともに、会員の皆様のご期待に沿えなかったことを深くお詫びいたします。

またこれを機に、単に世代が若い世代に交代するというだけではなく、グローバル化が進み技術が進歩して新しい時代に変わりつつあるということを再認識し、「新しい自治会」の確立に向け世代を越えて、地域交流の増進のために努力していきたいと思っておりますので、今後とも、皆様のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

一斉清掃、共通部分の清掃に集中

梅雨の雨も上がり、過ごしやすい天気恵まれ、自治会全員参加の一斉清掃が行われました。今年は、自宅周りの清掃は各家庭に任せ、公園やバス通りなどの共通部分の清掃に集中して実施することになりました。

若い人たちだけでなく、高齢者やお子さんたちも含め家族総出で、楽しい一斉清掃でした。



会費のコンビニ集金が好調に進む

5月から始まった会費のコンビニ払い込みは、既に900件に及ぶ方が払い込みを済まされました。今まで役員の負担が大きかった会費の集金も大きく改善されようとしています。

拠点防災運営委員のDIG研修

今年の運営委員会研修では、地図を見ながら、実際に災害が発生した時の危険を予知して被害を想像してみるDIG訓練が6月17日に行われました。盲点を「見える化」し危険予知に繋げる訓練であり、今後の普及がさらに望まれる機会でした。

今月と来月の予定

- 部長会、役員会：納涼祭のまとめ。
- 7月：拠点防災のリーダー研修(7/15)
ラジオ体操(7/21~23)

発行責任者：山本利昭
HP：<https://higiriyama.org>
ご意見：info@higiriyama.org



HP